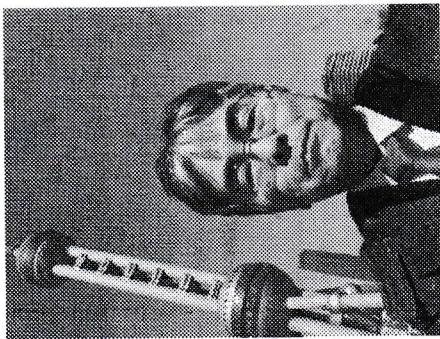


II 特別シリーズ II

科学技術振興機構「さくらサイエンスプラン」友情と感激

第19回

大阪府立千里高等学校の活動報告

堀邊慶一
(大阪府立千里高校
学校教頭)

課題研究を通じた交流実施

大阪府立千里高等学校は2017年10月16日から22日まで、台湾の國立中科院高級中学（以下、中科院）から5名の高校生と11名の引率教員を招き、科学探究活動を通じた交流を行いました。

中科院は台中市の「科学技術特区」にある企業・研究所等で勤務する外国人を含む勤務者の子女教育を目的の一つとして設立された高級中学（高等学校）です。科学分野の探究活動や実験を中心とした理科教育に力を入れて、中高一貫教育もスタートさせている意欲的な学校もあります。また同校は外国语として日本語の教育にも力を入れ、日本のSSS-H（スリーパー・サイエンス・ハイスクール）発表会などへの参加もしています。さらに近年はドイツの科学系の高校との交流も進めています。

SSS-H指定校である本校との科学探究（課題研究）を通じた交流と、日本の大学や研究



千里高校課題研究発表会
で研究活動の具体的な様子を体験して
いた。企画しました。

10月17日
に行われた
SSS-H「探

プログラム	
1日目	千里高校着、ホームステイ先へ
2日目	校内オリエンテーション、国際文化科2年「探究発表会」授業体験（国際理解・英語・理科等）
3日目	総合科学科「科学探究発表会」
4日目	大阪大学蛋白質研究所、産業技術研究所見学・講義参加 国立民族学博物館・千里高校主催交流会参加
5日目	理化学研究所（神戸事業所）見学 阪神淡路大震災被災地見学（神戸市中央区、長田区）
6日目	大阪サイエンスティイ発表
7日目	修了式

究中間発表会」、18日に行われたSSS-H「科学探究中間発表会」に参加しました。SSS-HとSSS-Hに両方指定を受けている本校では、両方の中間発表会が2日間にわたって実施されます。「科学探究中間発表会」では、ポスター発表に2本の発表で参加していただきました。国際・科学高校である千里高校は、国際科の生徒は英語での課題研究発表へのハンドルは低いですが、科学科の生徒にとっては、英語での発表、質疑応答は敷居が高いのが現状です。中科院中の生徒とのやり取りはすべて英語で行われ、最初のうちは戸惑いも見られましたが、お互い科学的な課題研究に打ち解けて探究活動や学校生活についての交流が活発に行われました。

☆大阪サイエンスティイでの発表

大阪のSSS-H指定校・経験校などでつくる「大阪サイエンス・スクール・ネットワーク」（以下、SSSN）が実施する課題研究発表会（大阪サイエンスティイ）において、招待ちは日本の高校生に積極果敢に英語で質問し、日本の高校生に大きな刺激を与えていました。中科院中の生徒たちも日本の高校生たちの科学分野における課題研究に大いに刺激を受け、熱心にメモを取っていました。